

1. 【再掲】 令和2年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）

2. 【開催案内】 日本学術会議 第13回情報学シンポジウム

「ICTによるスポーツ分野のイノベーション」

■-----
【再掲】 令和2年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）
-----■

令和2年度代表派遣会議の推薦募集を開始致します。

日本学術会議では、世界の学界との連携、国際学術団体の運営への参画、学術に関する動向の把握、研究の連絡並びに情報の収集及び交換等を行うため、外国で開催される学術に関する国際会議等に学術会議の代表を派遣しています。

日本学術会議の代表として参加すべき必要性の高い国際会議がございましたら、ご所属の委員会委員長又は国際学術団体に対応する分科会委員長または世話人（以下「関係委員長」）へご相談下さい。関係委員長の推薦が必要となります。

代表派遣の対象となる国際会議は、当会議が加入している国際学術団体が主催又は共催する総会、理事会等を原則とされるようご留意願います。

また、予算をめぐる状況が大変厳しくなっていることや代表派遣を希望する会議が多くなっていることから、日本学術会議では、ディスカウント・エコノミー相当の航空運賃を負担させていただきます。

応募多数の際には、ご希望に添えない場合もございますので、予めご承知おき下さい。

【募集対象会議】

開催初日が令和2年4月1日～翌年3月31日までの会議

【募集締切】

令和2年1月7日（火）正午〆切【期限厳守・必着】

（※関係委員長からの提出の〆切日となります。）

※公平性を保つため、締切り厳守。

一部分の書類のみの提出では検討の対象になりませんので、
必要書類を整えてご応募頂けますようご協力お願い致します。

※早目にご提出いただければ大変ありがたく存じます。

【手続き】

申請手続きは、関係委員長からの推薦が必要となりますので、関係委員長まで
ご相談下さい。

【代表派遣会議 HP】

<http://www.scj.go.jp/ja/int/haken/index.html>

【日本学術会議が加入している国際学術団体】

http://www.scj.go.jp/ja/int/link_kanyu.html

ご質問等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

<問い合わせ先>

日本学術会議事務局参事官室（国際業務担当） 代表派遣担当

TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755

E-mail: kokusaidaihyohaken.group*cao.go.jp

（*を@に変更してお送り下さい）

■-----
【開催案内】 日本学術会議 第13回情報学シンポジウム

「ICTによるスポーツ分野のイノベーション」

<http://scj-info.nii.ac.jp/symposium13.html>

-----■
日本学術会議情報学委員会は第13回情報学シンポジウムを開催いたします。

第一部では、米国 NSF、欧州、日本から招待講演者をお招きし、情報学分野の最近の研究戦略に関して講演をいただきます。2020 年の科学政策の戦略的なポイントは何か、生のメッセージを聞く貴重な機会となっております。

第二部では、ICT によるスポーツ分野のイノベーションと題して、スポーツ分野における情報技術の実践、研究についてご講演をいただきます。情報技術を活用するインパクトのある事例をご紹介します。

是非お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

=====

日 時：令和 2 年 1 月 9 日（木）13：00～17：40

会 場：日本学術会議 講堂（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口）

主 催：日本学術会議 情報学委員会

参加費：無料（下記 URL をご参照の上、参加申込をお願い致します）

<http://scj-info.nii.ac.jp/symposium13.html>

主な講演とパネルのテーマ：

■第一部■

- ・「情報分野の研究に関連する最近の施策の動向」
橋爪 淳（文部科学省研究振興局参事官（情報担当））
- ・「Transforming Science in the 21st Century: NSF Big Ideas, Advanced Cyberinfrastructure, and the CISE Research Agenda」
Manish Parashar（米国 National Science Foundation, Office of Advanced Cyberinfrastructure, Director）
- ・「EU における ICT への取り組み（仮題）」
TBA（駐日欧州連合代表部）

■第二部■

- ・「ICT によるトップアスリート支援」
三浦智和（国立スポーツ科学センター スポーツ科学部 主任専門職）
- ・「体操採点システムから「する・みる・支える」への展開」
佐々木和雄（富士通研究所 G プロジェクト プロジェクトディレクター）
- ・「脳科学 X ICT でアスリートの能力を解明し鍛える」
柏野牧夫（NTT コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー）
- ・「ひとりひとりにフィットする美しい義足」
山中俊治（デザインエンジニア／東京大学大学院情報学環・生産技術研究所 教授）

- ・「スポーツ IoT/CPS から健康プロモーション」
中田研（大阪大学 医学系研究科 教授）

パネル

- ・「ICTによるスポーツ分野のイノベーション」
第2部講演者に加えて、
秋田豊(サッカー解説者／サッカー元日本代表)他

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=418&m=47846&v=8fb7f1c5>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=419&m=47846&v=2a3c61cb>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=420&m=47846&v=51eb8f8a>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34